

重症筋無力症について

前回の栄養ゼリーの記事を見たある薬剤師の方から重症筋無力症(myasthenia gravis;MG)に効果的な健康食品はないかという質問を受けました。どうやら典型的な薬物治療で副作用が出たため薬物治療が休止状態となった患者さんからの相談からの質問のようでした。重症筋無力症は国が定める難病の1つであり自己免疫疾患でもあり、健康食品レベルで自己抗体が発生しにくくなり重症筋無力症の症状が軽くなるとはとても思えません(現段階では)。病気の症状や治療については難病センターのホームページ(www.nanbyou.or.jp/)に詳細が掲載されていますのでそちらを参照して頂きたいと思いますが、私自身の知識蓄積のためにまとめてみたいと思います。(他の参考資料;薬局増刊号「病気とくすり 2018」)

1) 重症筋無力症とは

神経と筋肉の接合部分の神経伝達に障害がおきて筋肉の収縮に障害が起きてしまう病気です。

症状としては**筋力低下**と**易疲労**がやすく、頻度が高いものは、**眼瞼の下垂**や**複視**などの眼の症状になります。そのほか、全身性の**四肢筋力低下**、**顔面筋力低下**や**発語**や**嚥下障害**が目立つ患者さんもいます。症状が悪化すると呼吸筋麻痺により**呼吸困難**に陥ることもあります。なお、眼の症状だけの場合を**眼筋型**、全身症状のある場合を**全身型**と呼んで区別しています。

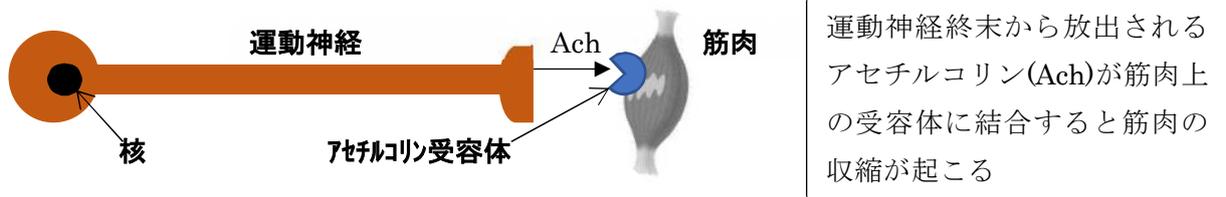
2) 重症筋無力症の疫学

日本では2013年現在、推定2万人以上の患者さんが存在しており、調査のたびに患者数は増加しているようです(1987年約6,000人、2006年約15,100人)。

男女比は1:2で**女性に多く**、発症年齢の平均値±標準偏差は**42.7歳±21.2歳**ですが、5歳未満に1つの発症ピークがあるとされています。

3) 重症筋無力症の発症機序

いわゆる**運動神経**(α 運動ニューロン)の神経伝達異常によるものになりますが、運動神経と筋肉の関係は以下のようになっています。



重症筋無力症では筋肉上にある**アセチルコリン受容体**に対する**自己抗体**が出来てしまい、本来の神経伝達物質であるアセチルコリンが受容体と結合するのを妨害することで**筋肉の収縮が十分にできない状態**になります。筋肉細胞膜表面にはアセチルコリン受容体以外にも筋肉収縮に関係する蛋白質があり、それらに対する抗体ができて**筋無力症を引き起こすことが知られています**。それらの自己抗体の検出頻度は以下のようになりますが、アセチルコリン受容体への自己抗体が圧倒的に多いよう

です。

- ①アセチルコリン受容体(AchR)抗体：85%
- ②筋特異的受容体型チロシンキナーゼ(MuSK)抗体：5%
- ③低比重リポ蛋白受容体関連蛋白4(LRP4)抗体：1%
- ④上記抗体が検出されないタイプ：9%

4) 重症筋無力症の治療

根本的な治療はなく対症療法となります。完全寛解はなかなか得られないため、**長期の治療**になることを意識した患者さんへのフォローが必要になるとされます。

①最初の到達目標

経口プレドニゾロン5mg/日以下。これを早期に達成するような治療戦略がとられます。

②実際の治療

1. 全身型MG

早期から免疫療法を積極的に行いQOLに影響を与えるMG症状の改善を短期間で達成する。コリンエステラーゼ阻害薬は補助的役割として有効とされています。

中等～重症例には免疫グロブリン大量静注療法が有効とされます(0.4g/Kg/日を5日間)。

2. 眼筋型MG

早期にステロイドパルス療法を実施(メチルプレドニゾロン注射0.5g 2～5日間)、その後プレドニゾロン10～20mg経口投与継続してから症状により漸減します。

3. 血液浄化療法

血漿交換法、免疫吸着療法などがあり、血液中の自己抗体を除去するのが目的となります。

5) 治療薬の種類

①コリンエステラーゼ阻害薬

神経筋接合部におけるアセチルコリンの分解を防ぎ、少しでも筋力を上げる役割になります。

- ・メスチノン(60mg) 3錠 分3食前1時間 :少量から開始し漸増
- ・マイテラーゼ(15mg) 1錠 分1 寝る前

②免疫抑制薬

(1)経口副腎皮質ステロイド薬

副作用予防のため漸増し、高用量で十分な効果が得られるまで維持、改善後は漸減します。

- ・プレドニゾロン(5mg) 1錠 分1 朝食後

初期増悪に注意しながら1～2週間かけて20mgまで増量

(2)カルシニューリン阻害薬

ステロイドと併用する。

- ・ネオーラル(50mg) 1日5mg/kg
- ・プロGRAF(1mg) 3cap 夕食後

6) 健康食品の余地は・・・

以上のような薬を見ていると重症筋無力症に健康食品の余地は無さそうです。食品の観点からいうと**嚥下困難**の症状に対して食事の際には気を付ける必要はありそうです。(終わり)